

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

春 季 号

日本アシュラム

SPRING 1985

United Christian Ashrams of Japan

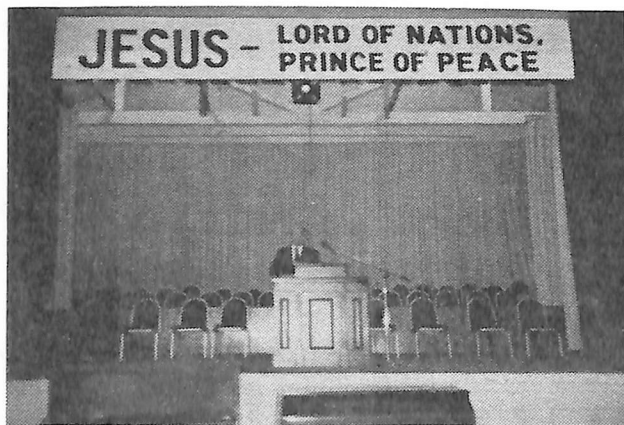
54

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

主題 『万民の主、平和の君』 第六回国際アシュラムの恵み

海 老 沢 宣 道

四年ぶりの第六回国際クリスチャン・アシュラムは既報の通り、去る一月22日(水)夕刻から、米国ジョージア州聖サイモンズ島エプウオースの合同メソジスト退修会場に開催された。日本からの参加者は海老沢宣道理事長夫妻、大石嗣郎総務、洲江千代子姉(淳一師夫人)、飯島庸江姉(池上教会員)の五名と、現地参加の谷本清理事夫妻に、飯田秋夫兄(山崎パンのニューヨーク駐在員)の三名、合計八名で、九ヶ国からの全参加者二七四名中、米国、カナダ以外の外国からでは最多数であった。日本からの一行は22日正午に成田を離陸し、十時間程でニューヨークに着いたのは同じ22日午前十時半、それからアトランタで乗換え、プランスウィークの小飛行場についたのは途中待時間も多く、夜十時頃となり、出迎いの車で会場についた時は第一日の日程が終了していた。長途の疲れを医して翌23日(木)朝六時に起床、七時からの静聴、午前中の聖書と福音の時、午後の国際委員会、教会活動の時には海老沢師が日本の運



動事情につき報告、大石師に製作して貰ったスライドを四〇枚映写して一同から非常な拍手を受けた。祈りの細胞、夜は立証の時、映画「神の漁師スタンレー」の上映があった。第三日(24日)朝の静聴は大石嗣郎師が司会、福音の時はマシューズ博士、午後の教会活動はドイツとフ

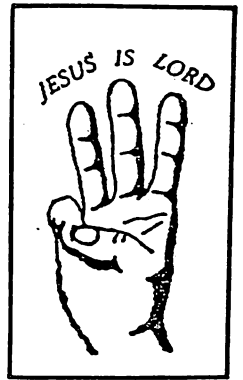
インランド、谷本清師の立証、夜の交わりの時には海老沢夫人が日本茶道のお点前を披露し、谷本師が映画「ノーモア・ヒロシマ」を上映して多くの人々が感銘。

第四日(25日)午前の聖書はインドのタイタス師、午後の教会活動はワグナー師により米国各地とカリビア海地方のアシュラムについてスライド映写、夜はメリー・ウエブスター姉の熱こもる立証があり、続いて医しの時が守られ、多くの兄弟が主の足下にひれ伏した。

最終日(26日)聖日の朝七時から聖餐式がバーク博士の司会で例の如く鼓かに守られ、栄光を拝した。午前中にハンター師の説教による礼拝と充満の時があり、一同肩を組み、「神共に在して、また会う日まで」を唱和、涙のうちに互に握手や抱擁をして別れを惜んだ。誠に人種国境を超えて、主に在りて一つなる体験を与えられ、感謝のうちに散会した。尚、最後の充満の時に、今回のため非常な労を取った米国の総務リキンス師に、日本からの贈物として、理事長自筆の短冊『和敬静寂』を贈呈して喜ばれた。

以上全日程を略記したが、その中で聖書の時などに与えられたメッセージの内容を、同行の洲江千代子姉に書いて頂き、次頁に掲載したのでぜひ味読されたい。

編集人 海老沢宣道
発行人 大石嗣郎
定価 一部60円 千60円



国際アシュラムの
メッセージを受けて

洲江千代子

四年ぶりに再び国際アシュラムに日本代表の一行に参加して出席し、多くの恵みを頂くことができたことを感謝しています。私たちが成田を立ててエプウォースの会場に着いたのは十七時間後の夜十時すぎでした。海辺の静かな島には樹齢二百年以上の檜の木に宿り木がゆれていて私たちが歓迎するように印象的でした。二日目の朝七時から夜十時までのぎっしりつまったプログラムでしたが、その中の「聖書の時」や「福音の時」に頂いたメッセージの幾つかをメモを頼りに略記して、皆様に恵みの分か合いをいたしたく存じます。

まず23日午前の聖書の時に、インドのタイタス兄弟は、『アシュラムとイエスの神秘性』について語り、イエス様のように父なる神に一切を

『イエスは主である』

委ね、聖霊に満たされるよう説かれた。イエス御自身の生涯も、神の国の教も神秘に満ちている。神は霊であるから拝するものも霊とまことをもって礼拝すべきこと、一人一人が御霊により主と合一し、同じ軛を負って十字架の福音と復活の希望を証してゆくこと、日々に主にサレンドンすることにより、完全な器へと整えられてゆく、このことは主が一方的に与え給う恵みで教派を超えて教会は一致すべきで、キリストの身体は分割できないことを強調、アシュラムの五大原則を主イエス御自身の原点の中に学ぶことができた。

三日目は24日エブリン・レイコック姉が、父なる神とはどのようなお方であるかを、申命記三二・一一の鷲の比喻を用いて説明された。

鷲は時速一四〇哩のスピードで太陽に向ってまっしぐらに飛ぶ唯一の鳥である。嵐に翼をはたき小ろばさえ引上げる力を持ち、勇氣・力・自由のシンボルとして用いられているが、一方その雛育ては愛情と訓練のこまやかな配慮に満ち、もう大丈夫立ち立ちできると見た暁には、その巣を容赦なくついで壊し、雛をば酷しい世に飛立たせるのである。神は今全世界に平和と正義をもたらす、神との正しい関係を回復し、御国を来らすために、巣の温もりの中にいる私達を揺り動かしているのでは

はないかとアピールされた。

四日目(25日)の聖書の時はスタンレー・ブラウン師により、イエスに従うことは愛をもって境界線を超えることであると語られた。マルコ七章の講解を通してイエス御自身が神の国の到来を宣言された時、人々は信じなかつたばかりか強い反対により伝道が妨げられた。そこで主は伝道の方法を変えられ、少数の弟子の訓練に力をそそがれた。そしてツロ、シドン地方に行かれた時、異邦人の女の切なるニードに答えて汚れた霊を彼女の娘から追出された。イエスは当時のタブーを破り、国境、人種、文化の別を越えて神の愛を拡めて行った。私達は自分の教会のためには献金するが、伝道集会とか海外伝道のためにはとかく関心が薄いように思う。今や世界はグローバルに考える時、国際アシュラムに於て一人一人が愛をもって主に従い、境界線を越えることである。私達の教会だけが教区ではなく、世界が私達の教区である。

最終日(26日)の礼拝はカナダのゴードン・ハンター兄が、ヨハネ伝一章五節の「光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。」の御言を繰返し述べ、永遠の希望の光であられるイエス・キリストが、この世に來られ、希望を与え続けている。核戦争とか核の冬

とかで怯えている暗黒の世にもキリストの希望の光はなおも輝いている。スタンレー・ジョーンズが初の国際アシュラムで最後の力をふり絞って語られた、不動の御国と不変の人格イエスを主と仰ぎ世に仕えてゆくことができるよう、聖霊の働きを祈る次第である、と語られた。

他に福音の時が三回あり、23日の朝にウィルク師は特に水のバプテスマと聖霊のバプテスマについて伝道の方法論——神が備えて下さったあらゆる手段(水)を用いて、聖霊の火を世界に運ぶ使命が与えられていると強調された。

また24日午前の福音の時にマシュー師は、去年の関東アシュラムで決断ができクリスマスに受洗した飯島姉を壇上に招かれると、同姉はその時マシュー師が発表された俳句をハート形の色紙に、『神の言、はらから友よ、とわの春』と書いて渡されると大変な喜びようで、『すばらしい贈物だ。ここで今一つ俳句ができた』と言って、『檜の園、心なごみぬ、君、主イエス』と訳される英文を発表された。『俳句には季を求められるが、私達は季節を問わず主に仕え、御言を受けるようにしよう。神の御用に定年はない。また万事が整ってから立つのでなく今、僕は聞き従いますと、主にサレンドンすることである』と語られ、丁度同

(ロマ書十章九節)

アシュラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し
(二) 御言への静聴と立証

好評・再版出来
海老沢宣道著
「アシュラムの原則と実際」
新書判52頁

博士夫妻がアフリカのジンバブエへ教会管理のため、閉会後直ちに旅立つので、以上の言は極めて印象深く感ぜられた。お話のあと参加者全員

福音の時

ヨハネ福音書から学ぶ (二)

ジエームス・マシューズ

前回はヨハネ伝を初めから終りまで、全体に亘って繰り返し目を通しました。第一章は前奏曲で全体の主題「言」が述べられ、第21章の一五三尾の魚は福音の世界性を示しています。二章の最後の二節を解説するために、三章でニコデモの事が記され、三章36節の言を説くために、四章でサマリヤ女の事が書かれています。二、三、四の各章は夫々二つの部分から成っていることを見ます。過越祭については前半に三回(二、六、十二章)言及しています。この二十二章の部分にはイエスのしるしが大衆の前に命と力とをもって公示されています。まずカナの村で水を酒に変えられ、次いでロマの役人の息子を医された話が出ていますが、主がカナで語られたことが、カペナムで実現しているように、福音は関東アシユラムでも実現するのです。イエスは水が好きでした。三章で水と霊のことを、四章で井戸水と命、

が博士夫妻を取囲み手を差し延べ、困難な地へ遣わされる二人のため主の特別な顧みを祈った。

五章はベテスタ池、六章でガリラヤ湖、七章で生ける水、九章でシロアム池など。

イエスはパンが好きでした。洗礼と共に聖餐を重んじられました。六章で五千人に供食され、天からのパンについて話されました。

ヨハネは主イエスのしるしを七回記しています。同じ六章で主の海上歩行をされたこと、十一章にラザロの復活の話などです。しかも僅か七回だけでなかったことは、本書の最後に明記されている通りです。今回のアシユラムにおいても昨夜の証しの時に、岡田さん、植村さん、その他の方々が主のしるしを見せてくれました。神はこの場で医し、変革のみわざをしておられます。私たちが信じて受入れるか否かに関わりなく、「命を豊かに与えるために来られている」(十章10)のです。受入れた者は神の子とされ、主の栄光を示される幸福に与かることができます。

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

後半「栄光の時」(13-20章)を見ましょう。しるしの部では「神の時はまだ来ていない」(二章四)とありましたが、ここでは「神の栄光を示すべき時が来た」(十二章23)と言われ、異邦人に教えておられます。この異邦人にはインド、中国、日本、米国が含まれるものです。(十三章一節)ユダが主を裏切る時を神の栄光が現われる時と見られました。

この後半には神の愛が何回も記されているのが特色です。前半には唯一回(三章16)だけでした。そして主イエスの人格を次のように示しています。13-16章には教師、友としての主、17-19章には祭司、自らを犠牲とされた主、20-21章には真の兄弟であり救主なる主を示しています。

ヨハネは二つの墓について書いていますが、一つはしるしの部(十一章)にラザロが甦って墓から出てきたこと、私達の墓もそのようになる印です。墓の内側から十字架を仰ぐ時、それは敗北でなく勝利となることを示しています。今一つの墓は勿論イエスの墓ですが、それは借物で二泊三日だけ必要なものでした。十四章13-14、十五章16、十六章23の各節を見て共通しているものは何か言って下さい。そうです、主の名によって祈る時、答えられること

価三百円千七〇円
スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシユラムの五大原則と守り方を平易に解説。

新刊好評
サトタル・アシユラム指導者
D・P・タイタス著
植村俊雄訳

「御国を来らせ給え」
神の国に就ての研究

A 6判40頁定価二百円千七〇円
スタンレーの後継者インドのタイタス師の名著

です。イエスの父なる神は祈りに答えられる方である。これが第一に大切なことです。次には信仰告白です。ニコデモは三章以後、七章にも十九章にも出てきます。サマリヤ女の告白、ピリポ、アンデレ、トマス告白(二十章28)にならって私達も「イエスは主なり」と告白できます。

第三に大切な事はイエスに就てではなく、イエスを信じる事です。スタンレーが若い時、信仰を求めて前に進み出た時、ある婦人が傍にきて三章16節を読み、「信じる者がひとりも」の所に自分の名を入れて読みなさい。と言われ、「スタンレーは御子を信じる。故に赦われた」との確信を与えられました。皆さんもそのようにして読んで下さい。(以下次号)

各地ニュース

報告の部

◎第22回教職ミニ・アシュラム

去る一月20日(月)午前10時半より午後八時まで、川口市赤井の安行教会を会場に、開会礼拝(神山師) 静聴の時(草村師) 昼食、午後の福音の時(菊池いっしゅ師)、夢と幻と祈りの時(司会松沢師)で「アシュラムの展望と課題」につき、新原迎、有馬歳弘の両師から示唆に富む発言があり、夕食、閉会礼拝(向山師)で充滿の時を守り、主イエスに仕える教職としての靈知を豊かに養われた。参加者十五名の一同、感謝の祈りを捧げて散会した。

◎第17回東京城北アシュラム

城北アシュラムは過去一年間、隔月に六回、参加教会を廻って準備祈禱会をつみ重ね、例年の通り去る二月11日(火)午前九時半から、中野区若宮の更生教会(安藤修牧師)で開催、主題『神の賜物を再び』(テモテ第二の一章六)の下、準備祈禱会、開心の時(海老沢師)、祈りの細胞(七分団)を守る。座長は藤井昇(天門) 飯島紀子(池ノ上) 神山さき(天門) 堀内清(更生) 三井賢太郎(更生) 中村四郎(新宿西) 渕江淳一(祖師谷)の兄弟担当。昼食は更生教会婦人会の御奉仕に与かり

交わりの時を持つ。午後は静聴の時(島津吉成師) 福音の時(有馬師)を通して御言の解明を受け、再び祈りの細胞で恵みを分かち合い、最後の充滿の時(神山良雄師)には多くの感謝が述べられ、一同輪を組み、主の恵みを讃え、『神ともにまして』を唱和、心温たまる思いのうちに再会を約して午後五時閉会した。今回の参加者は十六教会から五二名。

予告の部

◎第23回教職ミニ・アシュラム

三月三十一日(月)午後二時より 会場・天門教会(神山師)

中野区野方町一五五一一 電話(三八五)七四九一番

◎第四回東京城南アシュラム

来る四月十三日(日)午前10時 会場・碑文谷教会(大石嗣郎師) 目黒区中央一二二一一〇

電話(七一一)五七五八番 助言者・海老沢 宣道師

主題・『イエスは主である』 午後は第六回国際アシュラムの報告会、スライド映写あり。

◎第十回東京城西アシュラム

来る四月二十九日(火)午前10時 会場・高円寺教会(草村美師)

杉並区高円寺北二一三五一七 電話(三三〇)〇〇五二番 主題『溢れる神の恵み』

聖書・コリント第二の十二章九 助言者・松沢、植村、満丸、渕江

細川の諸氏。 会費・千円、午後四時半閉会。

◎東京城北アシュラム祈禱会

五月十一日(日)午後三時より 会場・新宿西教会(有馬歳弘師)

新宿区歌舞伎町二一九一 一 シャローム・ビル三階

賛助献金感謝

本紙51号以降、連盟のため左の方々から賛助金を贈られ感謝の至り。(前回まで累計五二万六千円)

関東アシュラム(61年) 五万円 城北アシュラム(61年) 二万円

飯島 庸江(池上) 二万円 大石 嗣郎(碑文谷) 一万円

海老沢 宣道(江古田) 一万円 小計 十一万円

累計 六三万六千円

予告

◎スタンレー・ジョーンズ博士著

『インド途上のキリスト』 博士の処女作で世界のベスト・セラーとなった名著。今夏出版。

スタンレー・ジョーンズ博士

遺書となった第二九冊目の名著

神の然り B6判三〇頁 定価二〇〇円 送料一五〇円

〈キリストに明け渡した人生〉 海老沢 宣道 訳 発行・日本アシュラム連盟

アシュラム生活の最良の友 アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、靈的な読物 価 200円 千70円、年1,620円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11 振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来36年続刊中

日本アシュラム三十年記念 カセット・テープ発売

マシューズ博士を迎えて開かれた関東アシュラムの全てを左記七本に収録、特価で頒布。

一、礼拝(渕江師) 八百円

二、開心(海老沢師) 千円

三、福音の時(マ博士) 千円

四、讚美と証しの時 千円

五、静聴の時(向山師) 八百円

六、福音の時(その二) 千円

七、充滿の時(満丸師) 千円

▼注文、希望品名と本数とをハガキで左記へ、代金は送品に封入の振替用紙で納入。

宛先、〒一〇一、東京都千代田区神田駿河台二一、お茶の水学生キリスト教会館四一五号、パラビジョン

東京都目黒区中央町1-21-10

日本キリストチャン・アシュラム連盟 碑文谷教会発行

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の祈し、祈禱生活運動である。